

低体重児の出産リスクのある妊婦に向けた、栄養食事指導プログラムの開発に関する研究

▶ キーワード：妊婦、体重増加、栄養食事指導

▶ 研究概要：



若年女性のやせは、妊娠中の栄養不足を引き起こし、胎児の成長に必要な栄養素が不足することがあります。これにより、低出生体重児（2,500g未満児）が生まれるリスクが高まります。低出生体重児は、出生後の成長や発達においてさまざまな健康問題を抱える可能性があり、特に成人期においては生活習慣病のリスクが増加することが研究で示されています。

妊娠中の継続的な栄養食事指導が妊娠中の適切な体重増加、出生体重の確保にどのように効果があるのかを検討します。

▶ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

妊娠前やせの妊婦への適切なスクリーニング方法、栄養上のリスクに応じた栄養食事指導の介入時期と介入方法を導き出します。多職種と連携した具体的な栄養食事指導マニュアルを構築します。

研究者

講師 鈴木美穂

専門分野：臨床栄養学、栄養食事指導